

女性ネットワークの会

住まいと建築展に参加しました

2020年10/29～10/30、インテックス大阪にて開催されました。今回で3回目の参加となりました。展示とセミナーの両方に参加いたしました。

1. 展示内容

- 1) マルコメ株式会社
糀甘酒を使用したレシピ本を展示するとともに、糀甘酒無料配布を行いました。糀甘酒は現場での疲労回復を期待できる飲料で、新たに開発したテイスト「抹茶」を希望者に無料配布いたしました。
- 2) ミドリ安全株式会社
女性用作業服、保護具を展示していますが、今回は新たにマタニティ仕様の作業服が展示されました。女性だけでなく、男性の方も真剣に見ている人が多かったです。おなかの大きさによって調整できるボタンもついています。妊娠すると仕事で着られる服がなくなってしまうというニーズをよくとらえている服のように感じました。保護具では、スニーカーのように見えるスマートで軽い安全靴に人気がありました。
- 3) 日野興業株式会社
女性用仮設トイレを今回で3回連続、展示をされました。毎年見学をする人が多く、ヘルメットの収納場所、アルコール消毒置き場など、女性らしいこまやかな配慮に感心している人が多かったです。
- 4) ベクセス株式会社
車椅子の人でも安心して使用できるユニバーサルトイレカーの展示を行いました。これから、建築関連施設やイベント、災害支援などで活躍する機会がありそうです。車椅子で来場された人が、試乗され気に入ってなかなか出てこなかったということもありました。
ユニバーサルトイレカーは2020年度グッドデザイン賞を受賞されています。
- 5) ロックペイント株式会社
室内用塗料の新製品で、消臭性、調湿性に優れた内装用塗料Deoカラット(室内用塗料)を紹介しました。壁紙の上からも塗れて、一回で下地の壁紙の色も隠れてしまうということです。展示会初お披露目ということで、興味を持たれている方もたくさんいました。また、普通の壁がホワイトボードにもなる塗料「キャンパスロック」も実演され、こちらも好評でした。
- 6) 株式会社WINNERS
求人誌パワーワークスで募集している、建築現場での「イケ女コンテスト」の紹介がありました。現場で実際に働いている女性の来場も多く、興味を持って頂いた方もいました。
- 7) 関西ペイント株式会社
建築現場でのコロナ予防策として、「接触感染対策シート」、「接触感染対策テープ」、「接触感染対策シートマスク入れ」を展示しました。特に女性は食事中的マスクの置き場に困ることもあります。「これはとても便利、保存中に菌が低減化できるのでさらに良いですね」という感想が聞かれました。
接触感染対策シートは一部サンプルを配布しましたが、すぐになくなってしまいました。

- 8) 建設産業女性定着支援ネットワーク 建設産業人材確保・育成推進協議会
建設産業女性定着支援ネットワークの活動を中心として、建設業での女性の活躍と定着の推進について説明を行っていただきました。たくさんの資料を用意していただき、セミナーにも参加しました。
- 9) 女性ネットワークの会
開催初日に新刊「続、今仕上げ女子がアツい」を発刊しました。電子図書、CD版での発刊についてPRをしました。また、ノベルティとして女性ネットワークの会オリジナルファイルと、七福神パッチ(願い事が掲載できるスペースあり)を配布しました。
- 最終日の10/30には、女性ネットワークの会と塗装体験を実施した大阪の桃山学院高校の生徒が訪れました。セミナーが終わった15時30分から、20分程度ですが、ブース内でトークイベントを行いました。実際に母校に自分で塗装しての感想や、これからも塗装をぜひやってみたい、建築の分野に進んでみたいという気持ちなど、率直な気持ちを話して頂けました。

2. セミナー内容

30日13時よりセミナーを行いました。

セミナーは「The power of woman 輝く建築女性トークセッション」と題して、2部構成で行いました。

第一部 女性が建築分野で働く現状について

-日本建築仕上学会 女性ネットワークの会の活動を通して感じたこと-

30分間、建築現場で働く女性の現状や日本での育児休暇制度の現状などについて講演を行いました。「建設産業女性定着支援ネットワーク」と、担い手確保・育成を目的とした「建設産業人材確保・育成推進協議会」について一般財団法人建設業振興基金経営基盤整備支援センター人材育成支援課 下永吉健司 課長代理に講演していただきました。「建設産業における女性の定着促進に向けて」と題して、国土交通省 近畿地方整備局 建設部 建設産業第一課 高城辰哉課長に講演を頂きました。

第二部 現場で働く女性へのアンケート結果より(トークイベント)

下記の内容についてアンケート結果の報告とそれについてのトークイベントを行いました。パネラーは、女性ネットワークの会 大阪地区運営委員を中心に、「続・今建築仕上げ女子がアツい」執筆者の一人でもある堀 登志子さんにも参加して頂きました。堀さんは東リ株式会社に勤務されていましたが、今は関西地区で街づくりのアドバイザーとして活躍している方です。

パネラーは以下の通りです。(敬称略)

- ・ 熊本 好美 日野興業(株)
- ・ 松尾 晶子 (株)マナベ
- ・ 前沢 知里 ロックペイント(株)
- ・ 宮原 悦子 (有)クリアール ソシオ
- ・ 堀 登志子 商店街よろず相談アドバイザー日本笑い学会理事

熊本運営委員以外は、トークイベント初挑戦ということで、当初パネラー全員とても緊張していました。

まずは自己紹介として「座右の銘」を考えてきてもらい、これを自己紹介時に発表して頂くことにしました。中々座右の感慨深い座右の銘が続き、これで大きくうなずかれてい

る方もいました。また、会社の作業服が着用可能な方は着てもらうことにしました。前沢委員は普段着ている塗料の付着したつなぎを着用、帽子も普段使用しているものをかぶっていました。

今までのアンケートの結果を報告するとともに、傾向として強くみられる点についてトークイベントを行いました。

トークイベントの話題は、以下の通りです。

1) 女性のベテラン化についてどう考えるか

・ 周りの対応(心構え) ・ 管理職、職長、現場所長への昇格 ・ 子育て中の職員への配慮
不十分だと思われる点はどこか、どのような点を改善したらよいか

2) 女性、男性の待遇面での男女差

・ 体力面での心配 ・ 子育てとの両立ができるのか ・ いまだに優しく接せられる

週休2日制、フレックスタイム、在宅勤務の導入評価制度として、どんな配慮が必要か

この点について、議論を深めていきました。産休や育児休暇を経験しているパネラーもあり、だんだん意識は改善されつつも、やはり昔ながらの感覚が建築現場では残っているところがある。建築現場で働く男性は高齢化もあり、なかなか男性職員の意識が変わらないことなどが問題点として挙げられました。女性が職長の立場に就いたとしても、意識は「女の子」のまま接せられることもあり、それに慣れていかないと、仕事は務まらないという意見もありました。

大阪地区では女性が工務店の経営者となっている会社もあり、職人も女性が多い地域でありながら、女性ネットワークの会のような意見交換できる場がないという意見が出されました。

会場は、コロナ対策のため100名入る会場に半数の50名の方が聴講にいられました。ほぼ募集した人数が集まりました。今回トークイベントが初であるというパネラーの運営委員も、座右の銘、各意見交換も堂々として行っていました。とても初めてとは思えない出来栄でした。

事前の登録者は、2日間4000人でした。当日の来場者は2日間で6101人でした。ブースはほぼお客さんが絶えない状態で、昨年同様忙しく時間が過ぎていきました。用意したカタログやノベルティもほぼすべて配布しました。多めに持って行ってよかったです。

これらの様子は、日刊建設工業新聞、建設通信新聞、塗装時報、塗料報知新聞などで報道して頂きました。

今回も大阪での女性ネットワークの会の活動に関心を持って頂き、2020年12月に大阪地区で2名の運営委員が誕生しました。次回は2021年6月を予定しています。

また、大阪のパワーを頂けたら幸いです。



写真1 中央がマタニティ仕様の作業服



写真2 女性ネットワークの会受付



写真3 ユニバーサルトイレカー入口



写真4 ユニバーサルトイレカー内部1



写真5 ユニバーサルトイレカー内部2



写真6 建設産業女性定着支援ネットワーク 建設産業人材確保・育成推進協議会のコーナー



写真7 各種の展示(関西ペイント、マルコメ、WINNERS、建設産業女性定着支援ネットワーク 建設産業人材確保・育成推進協議会)



写真8 ロックペイントの展示コーナー



写真9 セミナーの様子



写真10 セミナーの様子 桃山学院高校 先生、学生が飛び入り参加



写真11 桃山学院高校 塗装体験トークショー(ブース内)



写真13 トークショー座右の銘 宮原さん



写真14 トークショー座右の銘 熊野



写真15 快適トイレの前で記念撮影



写真16 ユニバーサルトイレカーの前でも記念撮影